

平等寺 朝夕勤行次第

每朝六時
每暮四時

先 壇前普禮

〔経頭〕金二打。〔諸衆〕本尊の御前に対して身を正して合掌し、左の腕に念珠を懸けて五体投地の禮を作すこと三度。普札の真言に曰く、

おん さ らば た た ぎゃ た
はん な ま んな のう きゃ ろ ゐ
み

om sarvatathagatapadavandanam karomi. オーム（聖語）、私はあらゆる御仏の御足に礼拝する。

次 着座

〔諸衆〕正座し、衣紋繕い。袈裟・念珠・衣などを整理え、一度念珠を摺る。その後、護身法すること常の如し。

次 前讚

〔経頭〕金一打。〔讃頭〕発音。願文のある時は一讚鉢三十。



四智梵語

鉢十五



心略梵語

鉢三十



不動讚

鉢二十四

次 佛前勤行

〔経頭〕金一打。勤行次第の頭を出す。



開經偈 一遍

無上甚深微妙法 百千萬劫難遭遇
我今見聞得受持 願解如來真實義

この上なく、極めて深く、素晴らしい仏の教えは、宇宙全体が十億回ほど消滅と生成を繰り返しても（Kalpakotisata）出会うことが難しいという。私は今、人として生まれ、その教えを見て聞いて受けもつ機会を得ることができた。ついては仏が意図したとおりに意味を理解できることを願う。

懺悔文

一遍 実又難陀訳『大方広仏華嚴経』「普賢行願品」偈

我昔所造諸惡業 皆由無始貪瞋癡
從身語意之所生 一切我今皆懺悔

私が遙かな昔より作ってきた悪い行いは、全ていつからはじまったのかも分からない「貪り・怒り・愚かさ」が原因となって、「身体・言葉・意識」の中で生み出されてきた。私は今、その全てを懺悔する。

三歸依文

三遍

弟子某甲 盡未來際

歸依佛 歸依法 歸依僧

仏の弟子である私は、未来が終わる時まで、仏を信じ、仏の教えを信じ、仏の教えを實踐する出家者の集まり（サンガ）を信じることを誓う。Skt. Buddhāṃ śaraṇaṃ gacchāmi, Dharmāṃ śaraṇaṃ gacchāmi, Saṅghaṃ śaraṇaṃ gacchāmi.

三竟

三遍

弟子某甲 盡未來際

歸依佛竟 歸依法竟 歸依僧竟

仏の弟子である私は、未来が終わる時まで、仏を信じ、仏の教えを信じ、仏の教えを實踐する出家者の集まり（サンガ）を信じている。

十善戒

三遍 実又難陀訳『大方広仏華嚴経』「十地品」

弟子某甲 盡未來際

不殺生 不偷盜 不邪淫
不妄語 不綺語 不惡口 不兩舌
不慳貪 不瞋恚 不邪見

仏の弟子である私は、未来が終わる時まで、故意に生きている者を傷つけず、与えられていない物を自分の物とせず、邪な男女関係を持たず、故意に嘘を言わず、余計なことも言わず、悪口も言わず、二枚舌も使わず、

般若心經

一遍 玄奘譯 『般若波羅蜜多心經』

佛說摩訶般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
 蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
 異色色即是空空即是色受想行識亦復如
 是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨
 不增不減是故空中無色無受想行識無眼
 耳鼻舌身意無色聲香味觸法無眼界乃至
 無意識界無無明亦無無明盡乃至無老死
 亦無老死盡無苦集滅道無智亦無得以無
 所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無
 罣礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛倒夢
 想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故
 得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜
 多是大神咒是大明咒是無上咒是無等等
 咒能除一切苦真實不虛故說般若波羅蜜
 多咒即說咒曰
 揭諦 揭諦 波羅揭諦 波羅揭諦
 菩提薩婆訶
 般若心經

次

表白或いは願文

〔導師〕奉誦

（朝勤行）

敬白 眞言教主大日如來金剛界會三十七尊九會曼荼羅諸尊聖衆。竝大悲胎藏八葉蓮臺十三大院塵刹聖衆。殊には本尊聖者醫王善逝日光月光十二神將諸大眷屬、總じては佛眼所照恆沙塵數一切三寶境界而言

夫以みれば藥師如來と者、

本行菩薩道の初めには發すに十二の上願を以てし、
東方瑠璃界の際には導くに千萬の下愚を以てす。

内外明徹の恵光は能く惑業煩惱の闇夜を破し、

像末饒益の威力は廣大慈悲の願望を改むること無し。

是の故に藥壺を開いて祕法を施せば病患を速疾に除き

松算を與えて懇念に隨えば壽域を長生に全うす。

然れば則ち一經其耳の少緣、尚お衆病悉除の功有り。

三業相應の懇請蓋ぞ轉業増壽の益を施さざらんや。

爰を以て護持法主、

今月今日壇上を靈地に儲け、六種の供具を設え、舉手低頭の禮敬を致して、
藥師如來の祕法を心門に修す。

然れば則ち、

護持法主 悉地成就

院内安穩 諸人快樂

別しては、

新型感染症物故者追善供養

新型感染症罹患者早期平癒

新型感染症醫療従事者身心安穩報恩謝徳

新型感染症被影響者身心安穩所願成就

新型感染症早期終息

護持施主 所願成就

乃至法界 平等利益

敬白

（神分）

（夕勤行・薬師如來名號讀誦會）

敬白 平等寺本尊薬師瑠璃光王如來名號讀誦功德回向之事

伏して惟れば三世諸佛出世の本懷は一切衆生成佛の指南なり。如來所説の八萬四千の法門は生死の苦海を渡す筏なりと。蓋し夫れ六大無碍の臺には迷悟同く優遊す。三密平等の床には生佛互に自樂す。之に迷者は長く三界の遊泥に沈み、之を悟る者は恆に五智の靈臺に遊ぶ。この故に諸佛、彼の六趣の塗炭を悲愍して拔苦の道を開き、菩薩は其の三途の沈淪を哀憐して與樂の法を示し玉ふ。ここに甚深廣大拔苦與樂の佛有り。所謂東方淨瑠璃世界教主、薬師瑠璃光王如來・醫王善逝是なり。始むるにおいて十二の大願を起こし、就中、第七願に曰く、「我來世に菩提を得し時、若し衆生あつて、病に逼迫し、救いなく、頼りなく、醫療なく、藥なく、親なく、家なく、苦しみ多ければ、我の名號、一度其の耳を経れば、病悉く除き、身心安樂にして家屬資具、悉く皆豐足とし乃至無上の菩提を證得せしむ」と。ここに今日の法會は、高祖弘法大師のご誓願「一切衆生の身心を平等に癒やし去る」ため御作されし平等寺本尊薬師瑠璃光王如來御寶前に、新型感染症物故者追悼、罹患者平癒、醫療従事者身心安穩、事態の早期終息並びに護持信心の施主らの諸願成就を祈らんがため、一座の法筵を開き、恆沙の名號・神呪を唱え、梵唄を奏し佛徳を讚す者なり。音聲即ち實相を顯す。生死豈に涅槃に非らざらんや。仰ぎ願わくば薬師名號此の會功力を以て恣に自他圓滿の眞果を證得せんことを。依つて金盤を鳴らし過現名簿を唱えて回向すること左の如し。

- 一、奉爲三世覺滿十方賢聖淨佛國土成就衆生
- 一、奉爲弘法大師始奉三國傳燈諸大阿闍梨耶普賢行願皆令滿足
- 一、（ここでお申し込みのあった祈願を讀み上げる）
 - 一、爲新型感染症物故者追悼
 - 一、爲新型感染症罹患者當病平癒
 - 一、爲新型感染症醫療従事者身心安穩報恩謝徳
 - 一、爲新型感染症被影響者身心安穩所願成就
 - 一、爲新型感染症早期終息
- 一、爲三界六道有緣無緣諸精靈等乃至法界平等利益

令和 年 今月 今 日 護持法主敬白

右、唱へ擧る所如件

次

讀經

「経頭」金二打。「朝勤行」「理趣経」。「夕勤行」例時「般若心経秘鍵」、六の日「観音経」、新月・満月「梵網経」、三と七の日「金剛界禮讚」、八の日「胎藏界禮讚」。



「理趣経」

「百字偈」

「朝勤行」「理趣経」の中で「百字偈」を讀誦。「夕勤行」「百字偈」の後に日に応じたお経を讀誦。

菩薩勝慧者

乃至盡生死

金剛薩埵

恆作衆生利

而不趣涅槃

菩薩の中にあつて特に優れた智慧ある者は、いつまでもこの生死の世界にあつて、常に衆生の利益を為し、声聞や縁覚のように無益な涅槃に向かおうとはしない。永遠にこの世界に留まり、衆生救済に奔走する金剛薩埵は、大智の故に生死に染まらず、大悲の故に涅槃に赴かない。これを無住處涅槃という。

般若及方便

智度悉加持

金剛欲明妃菩薩

諸法及諸有

一切皆清淨

金剛薩埵がどのように無住處涅槃を得たかといえば、般若の智慧（ものの本質は空であることを知る）と方便（適切な方法論）とをもつて、あらゆる物事や生きとし生けるものごとごとく加持護念し、全てを皆清淨にしたからである。般若と方便によつて全てを清淨にするという大いなる欲は、欲明妃の境地である。

欲等調世間

令得淨除故

金剛觸明妃菩薩

有頂及惡趣

調伏盡諸有

この大いなる欲によつて世間の罪惡を清め除くゆえに、有頂天から地獄までの迷いの世界全てを、迷いの世界そのままで仏の世界とすることが出来る。この世界のまま仏の世界に触れることは、觸明妃の境地である。

如蓮體本染

不爲垢所染

金剛愛明妃菩薩

諸欲性亦然

不染利群生

この大いなる欲がもたらす分別（愛情）は私欲を離れた清淨なものであるゆえに、赤い蓮華の花が、その色によつて汚されるのでは無く美しく輝くように、大いなる欲も分別（愛情）に汚されることなく、愛によつてより良く生きとし生けるものに利益を与えることが出来る。この不染の愛こそ愛明妃の境地である。

大欲得清淨

大安樂富饒

金剛慢明妃菩薩

三界得自在

能作堅固利

この清淨なる大いなる欲によつて、大いなる安樂を感じるようになり、どのようなものも調伏できる大いなる財を得る。この世界のあらゆる場所あらゆる瞬間において、生きとし生けるものを誤りなく確実に利益する。この大いなる精進は、慢明妃の境地である。

次つぎ 後讚ごさん

〔経頭〕金一打。〔讚頭〕発音。願文ある時は一讚鉢三十。



四智漢語しちかんご

鉢十五



心略漢語しんりやくかんご

鉢三十



佛讚ぶつさん

鉢二十四

次つぎ 三陀羅尼

夕勤行のみ誦する。〔経頭〕金一打の後 発音。



佛頂尊勝陀羅尼

一遍



一切如來心祕密全身舍利寶篋印陀羅尼

一遍



阿彌陀如來根本陀羅尼

一遍

次つぎ 四國八十八ヶ所眞言（天井繪）

一番札所 靈山寺

のうまく さんまんだぼだなん

ぼく

二番札所 極楽寺

おん あみりたていせい から うん

三番札所 金泉寺

のうまく さんまんだぼだなん ぼく

四番札所 大日寺

おん あびらうんけん ぼざらだと

ばん おん かかかびさんまえい

そわか

六番札所 安楽寺

おん ころころ せんだりまとうぎ

そわか おん

七番札所 十楽寺

あみりたていせい から うん

八番札所 熊谷寺

おん ぼざらだらま きりく

九番札所 法輪寺

のうまく さんまんだぼだなん ぼく

十番札所 切幡寺

おん ぼざらだらま きりく そわか

おん ころころ せんだりまとうぎ

十二番札所 藤井寺

そわか

十三番札所 焼山寺

のうぼう あきやしや きやら

ばや おん ありきや まりぼり

そわか

十三番札所 大日寺

おん まかきやろにきや そわか

おん まいたれいや

十四番札所 常楽寺

そわか

十五番札所 国分寺

おん ころころ せんだりまとうぎ

おん ぼざらだらま きりく

十六番札所 観音寺

そわか

十七番札所 井戸寺

おん ころころ せんだりまとうぎ

そわか おん

十八番札所 恩山寺

ころころ せんだりまとうぎ

十九番札所 立江寺

そわか

えい そわか

二十番札所 鶴林寺

おん かかか

おん びさんまえい

そわか

きやらばや

二十一番札所 大龍寺

おん ありきや まりぼり

そわか

おん ころころ せんだり

まとうぎ

そわか

二十三番札所 薬王寺

おん ころころ せんだりまとうぎ

そわか

阿波二十三ヶ寺眞言 發心

土佐十六ヶ寺眞言 修行

二十四番札所 最御崎寺
 のうぼう あきやしや きやらばや おん ありきや まりぼり そわか
 二十五番札所 津照寺
 おん かかか びさんまえい そわか おん ころころ せんだりまとうぎ
 そわか おん 二十七番札所 神峯寺
 まかきやろにきや そわか おん 二十八番札所 大日寺
 ばざらだと ばん
 おん 二十九番札所 国分寺
 ばざらだらま きりく そわか おん 三十番札所 善樂寺
 ばざらだと ばん
 おん 三十一番札所 竹林寺
 あらはしや のう おん 三十二番札所 禪師峰寺
 まかきやろにきやそわか おん ころころ せんだりまとうぎ
 せんだりまとうぎそわか おん 三十三番札所 雪隠寺
 ころころ せんだりまとうぎ そわか のうまく さんまんだ
 三十五番札所 清瀧寺
 ころころ せんだりまとうぎ そわか のうまく さんまんだ
 ばざらだん せんだ まかろしやだ そわたや うんたらた かんまん
 三十七番札所 岩本寺 不動
 のうまくさんまんだばざらだん せんだ まかろしやだ そわたや うんたらた
 かんまん おん 観音
 あろりきや そわか おん 弥陀
 あみりたていせいから うん
 おん ころころ せんだりまとうぎ そわか おん 地藏
 かかか びさんまえい
 そわか おん 三十八番札所 金剛福寺
 ばざらだらま きりく おん ころころ せんだりまとうぎ
 そわか

伊豫二十六ヶ寺眞言 菩提

四十番札所 観自在寺
 おん ころころ せんだりまとうぎ そわか おん 四十一番札所 龍光寺
 まかきやろにきや
 そわか おん 四十二番札所 佛木寺
 ばざらだと ばん おん 四十三番札所 明石寺
 ばざらだらま きりく そわか
 おん 四十四番札所 大寶寺
 まかきやろにきやそわか のうまく さんまんだばざらだん せんだ
 まかろしやだ そわたや うんたらた かんまん おん ころころ せんだり
 まとうぎ そわか おん 四十七番札所 八坂寺
 あみりたていせい から うん おん 四十八番札所 西林寺
 まかきやろ
 にきや そわか のうまく 四十九番札所 浄土寺
 さんまんだぼだなん ぼく おん 五十番札所 繁多寺
 ころころ
 せんだりまとうぎ そわか おん 五十一番札所 石手寺
 ころころ せんだりまとうぎ そわか
 おん 五十二番札所 太山寺
 まかきやろにきや そわか おん 五十三番札所 圓明寺
 あみりたていせい から うん
 五十四番札所 延命寺
 のうまく さんまんだばざらだん せんだ まかろしやだ そわたや うんたらた
 かんまん なむ だいつうちしよう ぶつ おん 五十六番札所 泰山寺
 かかか びさんまえい
 そわか おん 五十七番札所 栄福寺
 あみりたていせい から うん おん 五十八番札所 仙遊寺
 ばざらだらま きりく
 おん 五十九番札所 国分寺
 ころころ せんだりまとうぎそわか おん 六十番札所 横峰寺
 あびらうんけん ばざらだ
 と ばん おん 六十一番札所 香園寺
 あびらうんけん ばざらだと ばん おん 六十二番札所 宝寿寺
 まかきやろに
 きや そわか おん 六十三番札所 吉祥寺
 べいしらまんだや そわか おん 六十四番札所 前神寺
 あみりたていせい
 から うん おん 六十五番札所 三角寺
 まかきやろにきや そわか

讚岐二十三ヶ寺眞言 涅槃

六十六番札所 雲辺寺
おん ばざらだらまきりく おん ころころ せんだりまとうぎ そわか

六十八番札所 神惠院
おん あみりたていせい から うん おん ころころ せんだりまとうぎ そわか

七十番札所 本山寺
おん あみりとどはんば うんぱった そわか おん 七十一番札所 弥谷寺
おん ばざらだらま きりく

七十二番札所 曼荼羅寺
おん あびらうんけん ばざらだと ぼん 七十三番札所 出釈迦寺
のうまく さんまんだぼだなん

七十四番札所 甲山寺
おく ころころ せんだりまとうぎ そわか おん 七十五番札所 善通寺
ころころ

七十六番札所 金倉寺
せんだりまとうぎ そわか おん 七十八番札所 郷照寺
あみりたていせい から

七十七番札所 道隆寺
おん ころころ せんだりまとうぎ そわか おん 八十番札所 國分寺
あみりたていせい から

七十九番札所 天皇寺
うん おん まかきやろにきや そわか おん 八十二番札所 根香寺
ばざらだらまきりくそわか

八十一番札所 白峯寺
おん ばざらだらま きりく そわか おん 八十二番札所 根香寺
ばざらだらま きりくそわか

八十三番札所 一宮寺
おん あろりきや そわか おん 八十四番札所 屋島寺
ばざらだらまきりく おん 八十五番札所 八栗寺
あろりきや

八十六番札所 志度寺
そわか おん まかきやろにきや そわか おん 八十七番札所 長尾寺
あろりきや そわか

八十八番札所 大窪寺
おん ころころ せんだりまとうぎ そわか

次 諸眞言

経頭に從つて読誦。藥師七遍。他各三遍。

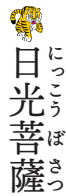


藥師大咒 のうぼう ばぎやばてい ばいせいじゃぐる ばいちよりや

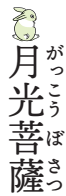
はらばあらんじやや たたぎやたや あらかてい さんみやく
さんぼだや たにやた おん ばいせいぜい ばいせいぜい
ばいせいじや さんぼりぎやてい そわか



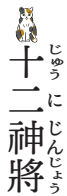
藥師小咒 おん ころころ せんだりまとうぎ そわか



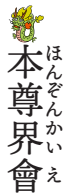
日光菩薩 おん ろぼにめた そわか



月光菩薩 おん せんだらはらばや そわか



十二神將 おん くびら そわか



本尊界會 南無本尊界會

藥師如來

 兩部界會
南無兩部界會

 金剛界大日
おん ばざらだと ぼん

 阿闍如來
おん あきしゅびや うん

 寶生如來
おん あらたんのう さんばんば たらく

 觀自在王
おん ろけいじんばら あらんじゃ きりく

 不空成就
おん あぼきや しつでい あく

 胎藏大日
のうまく さんまんだぼだなん あびらうんけん

 寶幢如來
のうまく さんまんだぼだなん らんらく そわか

 開敷華王
のうまく さんまんだぼだなん ばんばく そわか


 無量壽佛
のうまく さんまんだぼだなん さんさく そわか

 天鼓雷音
のうまく さんまんだぼだなん かんかく そわか


 普賢菩薩
のうまく さんまんだぼだなん あんあく そわか

 觀自在
のうまく さんまんだぼだなん ぼだだらんぢ さもりち

 世尊陀羅尼
ばらだのうきやり だらやさらばむ ばきやばちあきやらばち

 文殊菩薩
のうまく さんまんだぼだなん あべいだびでい そわか

 彌勒菩薩
のうまく さんまんだぼだなん まかゆぎや ゆぎに ゆけい

 迅疾持
じんばら けんじやりけい そわか

 般若菩薩
おん ぢしり しゅろた びじゃえい そわか

金剛界五佛

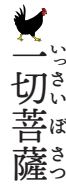
胎藏五佛

胎藏四菩薩



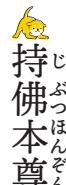
一切佛心

のうまく さんまんだぼだなん あん さらばぼだ ぼうじ
さとば きりだやにゃべいしやに のうまく さらば びでい
そわか



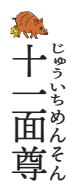
一切菩薩

のうまく さんまんだぼだなん きゃ さらばた びまち
びきらんだ たらまたと にりじやた さんさん か そわか



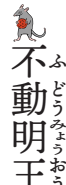
持佛本尊

おん まかきやろにきや そわか



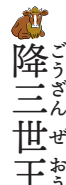
十一面尊

おん ろけいじんばら きりく



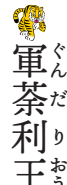
不動明王

のうまく さんまんだ ばざらだん せんだ まかろしやだ
そわたや うんたらた かんまん



降三世王

おん そんばにそんば うん ばざら うんぱった



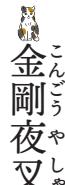
軍荼利王

おん あみりてい うんぱった



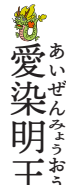
大威徳王

おん しゅちり きやらろは うん けん そわか



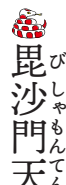
金剛夜叉

おん ばざらやきしや うん



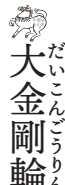
愛染明王

おん まからぎや ばざろしゅにしや ばざら さとば じゃく
うん ばん こく



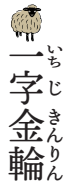
毘沙門天

おん べいしらまんだや そわか



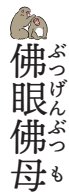
大金剛輪

のうまく しっちりやぢびきやなん たたぎやたなん あん
びらじ びらじ まましやきやら ばじり さた さた さら
てい さらてい たらい たらい びだまに さんばんじやに
たらまち した ぎりや たらん そわか



一字金輪

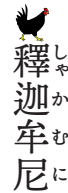
のうまく さんまんだぼだなん ぼろん



佛眼佛母

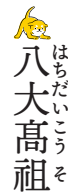
のうぼう ばぎゃばとうしゅにしや おん ろろ そぼろ

じんばら ちしゅた しっだ ろしやにさらばらた さだにえい
そわか



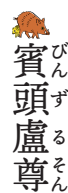
釋迦牟尼

南無釋迦牟尼善逝



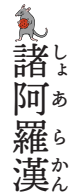
八大高祖

南無八大高祖



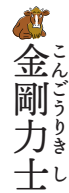
賓頭盧尊

南無賓頭盧尊者



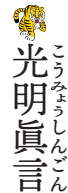
諸阿羅漢

南無諸大阿羅漢



金剛力士

南無金剛力士



光明眞言

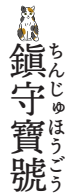
おん あぼきや べいろしやのう まかぼだら まに はんどま

じんばら はらばりたや うん



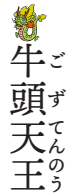
大師寶號

南無大師遍照金剛



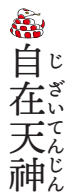
鎮守寶號

南無當山鎮守



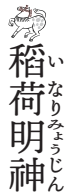
牛頭天王

南無祇園牛頭天王



自在天神

南無天滿大自在天神



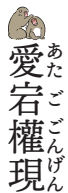
稻荷明神

南無稻荷大明神



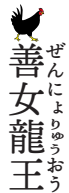
轟大明神

南無轟大明神



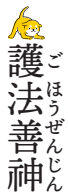
愛宕權現

南無愛宕大權現



善女龍王

南無清瀧大權現



護法善神

南無萬山護法善神

平等寺鎮守

 世出世神 せしゅつせしん おん ろまやろまや さやらや そわか

 先師尊靈 せんじそんりやう 南無當山代々先師尊靈 なむとうざんだいだいせんじそんりやう

 各家尊靈 かつけそんりやう 南無當山檀越先祖代々尊靈 なむとうざんだんのつせんぞだいだいそんりやう

 過去精靈 かこしやうりやう 南無過去精靈 なむかこしやうりやう

 三界萬靈 さんがいばんれい 南無三界萬靈 なむさんがいばんれい

次 つぎ 至心廻向 ししんえこう 『金剛界禮懺』 「至心廻向」偈 げ

懺悔隨喜勸請福	願我不失菩提心
諸佛菩薩妙衆中	常爲善友不厭捨
離於八難生無難	宿命住智莊嚴身
遠離愚迷具悲智	悉能滿足波羅蜜
富樂豐饒生勝族	眷屬廣多恆熾盛
四無礙瓣十自在	六通諸禪悉圓滿
如金剛幢及普賢	願讚回向亦如是
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛	

或 あるいは 廻向文 えこうもん 『法華經』 「化城喻品」偈 げ

願以此功德 普及於一切
我等與衆生 皆共成佛道

願わくば此の功德を以て普く一切に及ぼし我等と衆生と皆共に仏道を成ぜん

次つぎ
護身法等如常ごしんぼうなごつねのごじ

次つぎ
三歸禮さんきらい

実又難陀じつまたなんだ訳『大方広仏華嚴經』「淨行品」。「經頭」金一打し發音。
〔諸衆〕一同、三歸禮文を唱和しながら五体投地すること三度。

自歸依佛 <small>じききぶつ</small>	當願衆生 <small>とうがんじゅうじょう</small>	體解大道 <small>たいげだうだう</small>	發無上意 <small>はつむじょうい</small>
自歸依法 <small>じききほふ</small>	當願衆生 <small>とうがんじゅうじょう</small>	深入經藏 <small>じんじゅうきょうぞう</small>	智慧如海 <small>ちえにょかい</small>
自歸依僧 <small>じききそう</small>	當願衆生 <small>とうがんじゅうじょう</small>	統理大衆 <small>とうりだいしゅう</small>	一切無礙 <small>いっさいむがい</small>

次つぎ
退堂たいどう